

# JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 戦評

2024/10/12～14 日鋼室蘭スポーツパーク

## 【準決勝第1試合】

くりやまフットボールクラブ 2-1 北海道コンサドーレ室蘭U-12

(1-0.0-1延長1-0.0-0)

雲一つない快晴、天然芝の状態も良好の中、初戦2回戦と無失点で勝ち上がったくりやまフットボールクラブ（以下くりやま）と地元北海道コンサドーレ室蘭U-12（コンサ室蘭）の対戦。

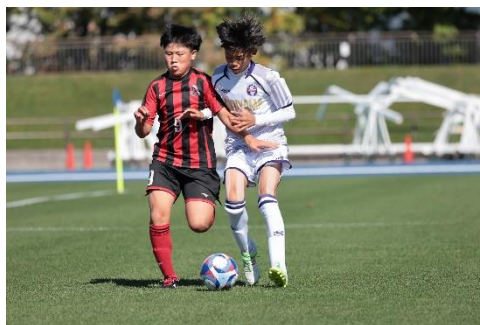
### 【前半】

コンサ室蘭のキックオフで定刻10:00キックオフ。お互いに1-3-3-1のフォーメーションで試合が始まった。やや強い港風の中風上にくりやま、風下にコンサ室蘭。前半開始からコンサ室蘭が巧みなパスワークでくりやまゴール前にボールを運ぶがなかなかシュートまでいけない。前半2分、くりやまはカウンターから9番が抜け出しシュートを放つがコンサ室蘭6番がシュートブロック。その後コーナーキックが続いたが、くりやまもなかなかシュートまでいけない。その後はコンサ室蘭が左右にワイドな展開で主導権を握る。立て続けにゴールを狙うがくりやまGKの良いポジショニングでなかなかネットを揺らすことができない。9分にはくりやま10番のミドルは枠外、10分にはスルーパスから抜け出した9番が左サイドからゴールを狙うが惜しくもサイドネット。前半12分中盤の混戦から抜け出したくりやま7番が右足を振りぬき豪快なシュートで先制ゴールが生まれた。その後コンサ室蘭の時間が続き18分には中央10番から11番へのパスからゴールを狙うがくりやまGKのナイスセーブに阻まれ前半が終了する。



### 【後半】

後半から追いつきたいコンサ室蘭は猛攻を仕掛ける。右サイドを駆け上がった9番からのクロスボールをフリーで11番がゴールを狙うが足に当たらず、こぼれたところを10番が降りぬくもくりやまGKのナイスセーブ。27分には中央からの仕掛けで10番がループシュートを放つが惜しくもクロスバーに阻まれる。29分には中央フリーキックのチャンスから9番が素晴らしいターンを見せ右足を振りぬくが、これもまたくりやまGKのワンハンドでのスーパーセーブでゴールを割らせない。守るくりやまはGKを中心に守備ラインが集中し体を張ってゴールを死守。ワントップを残してペナルティエリア内7人でゴールを死守していたが、37分中央8番から右サイド11番へ。ワンタッチで中央の9番に折り返すと右足を振りぬいた9番に待望の同点ゴールが生まれた。試合はそのまま終了し10分間の延長戦へ突入した。



延長前半キックオフはくりやま。風上のくりやまはキックオフからのパスを5番が直接狙う。ボールはうまく風に乗ってコンサ室蘭ゴールへ。待望の追加点。くりやまの延長戦でのシュートはこの1本。コンサ室蘭の猛攻を抑えたくりやまが決勝へコマを進めた。

## 【準決勝第2試合】

北海道コンサドーレ札幌 U-12 3-0 SSS 札幌サッカースクール

1-0・2-0

### 【前半】

無失点で勝ち上がってきた北海道コンサドーレ札幌 U-12（以下コンサ札幌）と2回戦をPKで勝ち上がったSSS札幌サッカースクール（以下SSS）の札幌勢同士の対決。フォーメーションはコンサ札幌が1-3-1-3，SSSが1-3-3-1。コンサ札幌のキックオフで試合開始。8番を中心にグラウンドを広く使うコンサ札幌は左サイドからチャンスを作りペナルティエリア内で46番が右足でシュートを放つがクロスバーの上。ファーストシュートはコンサ札幌。4分にはドリブルを仕掛けたコンサ札幌選手へSSSのファールによりFKを獲得。4番がゴールを狙うが壁に阻まれる。その後もコンサ札幌が主導権を握る展開が続いた。11分には中央から右サイド46番へ。仕掛けながらゴールを狙ったが枠外。主導権は握っているがなかなかゴールネットを揺らせないコンサ札幌。それでも焦りはなく、しっかりとボールをつなぎ、守備では4番を中心にピンチを未然に防ぐポジショニングでSSSの前半のシュートは1本のみだった。待望の先制点は19分、8番が右サイドへ展開、折り返しを左足で振りぬき、GKがうまくはじいたかに見えたところに46番が詰めて待望の先制点が生まれ前半が終了した。



### 【後半】

後半スタート風上に立ったSSSはキックオフからシュートを狙うがGK正面。ハーフタイムで修正されたSSS攻撃陣がコンサ札幌のゴールを狙う。21分には中央FKの相手クリアボールをダイレクトでシュートを狙う。さらに2番が中央から果敢にミドルシュートを打つがゴールマウスをとらえることができない。そんな中26分にSSSのワントップの15番が負傷により途中交代。この時はコンサ札幌がボールを保持していたが、相手選手の異変に気付いた選手たちプレーをやめ、交代の時間を作るという素晴らしい光景が見られた。徐々にコンサ札幌も落ち着きを取り戻ししっかりとボールを保持し相手ゴールへ向かっていくようになる。さらに交代によりフレッシュな選手をおくり、SSSゴールへ徐々にプレッシャーをかけていった。すると31分に左サイドを抜け出した10番からのクロスボールを46番が右足で当て追加点。さらにコンサ札幌はフレッシュな選手を送り出し、36分には8番が抜け出しGKとの1対1を落ち着いてゴール。試合を決める3点目を奪った。



このまま試合は終了し決勝戦にはコンサ札幌が進出し、くりやまとの決勝戦を迎えることとなった。

<文責 室蘭地区サッカー協会 技術委員長 三谷直人>

## 【決 勝】

くりやまフットボールクラブ 0-1 北海道コンサドーレ札幌U-12  
0-0・0-1

風もなく快晴の天候、天然芝も良好な状態、多くの観戦者が訪れる中での決勝戦。

決勝戦のカードは道央・空知地区代表のくりやまフットボールクラブ（以下くりやま）と札幌・札幌地区代表の北海道コンサドーレU-12（以下コンサ）の対戦となる。

### 【前半】

くりやまのキックオフで試合開始。くりやまは1-3-1のシステム。対するコンサは1-3-1-3。開始早々コンサは相手ボールを回収した4番から左サイドへ展開し、3番が積極的に駆け上がりクロスボール、合わせる選手がいないが、プレーは続きくりやまにボールを触らせずに右サイドでボールを動かし、5番が中央を突破してファーストシュート。2分には右サイドをコンサ46番が突破しGKの頭上を越えるクロスボールに左サイドの7番が合わせるが決定的な場面



とはならない。くりやまにボールを前進させない高い位置からの守備でボールを奪うコンサは4分に3番が中央突破してペナルティエリアに進入するが、くりやま7番5番4番の身体を張る粘り強い守備でシュートを打たせない。続けてコンサ3番が中央突破から強烈なシュートを打つがGK正面でキャッチ。8分コンサが3番、7番と左サイドからパスをつなぎ11番がシュートを狙うが、くりやま5番が身体を寄せゴールの枠に入れさせない。くりやまは9分左サイドからのスローインを受けた9番がゴールを狙ってロングシュートを打つが枠外。12分コンサ46番がシュートを打つがGKがはじいてCK。CK3本連続するものの、コンサキッカー8番から4番のヘディングシュートはGKに阻まれノーゴール。コンサの素早いプレスでなかなか攻撃への活路が見いだせないくりやまはGKから12番をターゲットに速攻を狙うがなかなかボールがつかない。15分コンサは8番、46番、11番とテンポよくボールを動かし11番が倒されてFKを得るが、4番のシュートはGKがセーブ。16分コンサはワンタッチで8番と3番でボールを動かし8番がシュートを打つがGKがセーブ。18分コンサは4番から7番へ大きな展開で左サイドに



揺さぶりファールを受けてFKのチャンス。キッカー8番からゴール前へ強いライナー性のボールが入るが合わせることができず、そのままゴールキック。コンサは終始、ボールも人も良く動き、長短のパスを組み合わせ、くりやまゴールを狙うが、くりやまの粘り強い守備に阻まれる。一方、くりやまはコンサの高い位置での素早いプレスに対応できず、GKからのビルドアップも試みるがなかなか相手コートへ侵入できず、自陣での攻防が続いた前半だった。



## 【後半】

キックオフはコンサ。開始早々くりやま9番がセンターサークル付近でボールを奪い、ボールを運びシュートを打つがGKがキャッチ。1分コンサが自陣ゴール前からビルドアップを試みるが、くりやま10番の前線からの厳しいチェックによりペナルティエリア内でボールを奪いシュートを狙うがDFにブロックされる。立ち上がり5分間くりやまはコンサに有効なスペースを与えないようにチーム全体で連携しコンサの選手をペナルティエリアには進入させない。



クロスボールに対しては厳しいマークを続けGKがボールをしっかりと保持。コンサは8番と10番を交代し攻撃のリズムを変える。7分コンサに待望のゴールが生まれる。4番から左サイドに展開し3番、10番、7番のコンビネーションから左サイドを崩し7番がゴール前へクロス、ペナルティエリア内中央に入り込んだ46番が前方の11番へワンタッチパス、11番がシュートを打ちGKが1度はブロックするがリバウンドを11番が押し込みゴール。8分コンサ3番と交代した2番がスピードに乗ったファーストタッチから中央突破し左足の強烈なシュート、GKのファイセーブで得点とはならない。9分くりやま9番がFWにポジションを移し、ドリブルで積極的に仕掛け11番がシュートを打つが枠外。10分コンサは11番がシュートを打つがGKがファイセーブしてCK。CKはキッカー2番から鋭いボールが入るが4番の左足のシュートは枠をとらえられない。コンサは後半から交代で入った10番、2番、14番がチームに躍動感を与える。15分くりやまは10番のワンタッチパスから右サイドの7番にわたり、スピードあるドリブルで仕掛けるがシュートまではいかない。16分コンサは左サイドから2番が鋭いクロスボールを入れるがシュートは打てない。17分コンサは5番のクロスボールを入れるがGKがパンチングで逃れる。ボールを拾



った2番が左サイドからクロスボールを入れるがDFがクリア、再度ボールを拾った2番がクロスボールを入れ11番がヘディングシュートでゴールを狙うがGKに阻まれる。くりやまはGK中心に粘り強く6人がペナルティエリア内で身体を張り凌ぐ時間が続く。19分コンサ10番を中心にショートパスでリズムをつくりペナルティエリアに近づくも決定機をつくれず試合終了。北海道コンサドーレ札幌U-12が優勝を決め全国大会への出場権をつかんだ。

<文責：道南ブロックユースダイレクター/室蘭地区特任理事 菅田浩之>